

友の会だより

No.70
2023.7

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

日本工芸会陶芸部会50周年記念展 未来へつなぐ陶芸 — 伝統工芸のチカラ展

会 期：2023年7月8日(土)～8月27日(日)

主 催：茨城県陶芸美術館、公益社団法人日本工芸会、NHKプロモーション

制作協力：NHKエンタープライズ中部

後 援：笠間市、茨城工芸会、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、
産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局

休 館 日：毎週月曜日(ただし、7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開館)、7月18日(火)

歴代の人間国宝作品をはじめ、有田や備前、九谷などの窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家たちによる作品や、茶の湯のうつわ、若手作家たちの作品など、137名の139点にわたって、未来へとつなぐ陶芸のわざと美を紹介します。



▲室伏英治
Nerikomi Porcelain Sparkle
2012年 東京国立近代美術館蔵



▲松井康成
練上嘯裂文大壺
1979年 茨城県陶芸美術館蔵



▲高橋朋子
金銀彩水指 遊ぶ月
2019年 個人蔵



▲見附正康
無題 2021年 個人蔵

● 展覧会関連催事のご案内

*詳細は、チラシや下記ホームページ等をご覧ください、お問い合わせください。

● スペシャルトークショー (予約優先/定員90人) ※空き状況により当日参加可。

出演者：佐藤典克氏、高橋朋子氏、和田の氏 (いずれも出品作家)

内 容：未来へつなぐ伝統工芸について語り合います。 日 時：7月22日(土) 13時30分から15時まで

会 場：当館1階 多目的ホール 参加費：無料 (要企画展観覧料)

● アーティストトーク (出品作家による作品解説) (予約不要)

時 間：いずれも13時30分から14時30分まで

1. 8月12日(土) 保立剛氏、福野道隆氏 2. 8月19日(土) 高橋奈己氏、澤田勇人氏

会 場：当館地下1階 企画展示室 参加費：無料 (要企画展観覧料)

● 落語の世界の名品・珍品 (予約不要)

「うつわを巡って起こる大騒動」

日 時：8月26日(土) 14時から15時まで 出 演：茨城大学落語研究会

会 場：当館地下1階 企画展示室 参加費：無料 (要企画展観覧料)

(当館ウェブサイト)



茨城県陶芸美術館ホームページ <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

陶芸一筋の人生を生きる

高橋春夫さん

5月の下旬、水田を渡るすがすがしい風の中、高橋春夫さんの工房に伺いました。小美玉市の谷津田をいくつか越えた里山の集落の一角に、優美な構えのご自宅と工房があります。



出身はどちらですか？

水戸市です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください。

中学生のころ、美術は得意だったのですが、父の仕事関係のパーティで供された記念品であった長太郎焼きの窯元の作品を見て、色がきれいだなあと感じました。父からも作品を指して「こんな仕事でもいいのではないかと進められこともあります。父が芸術に関心が高く、小さなころから美術に触れる環境にあったと言えます。

その後、瀬戸の作家さんのろくろの実演を見学したときに、手品のようで面白かったので、「やってみようかな」と軽い気持ちで始めました。ある方に長太郎窯に紹介していただくと「手が足りないから、すぐに来い」ということで鹿児島に行きました。

作品づくりについてお聞かせください。

長太郎窯ではたくさんの職人がいて、その方々から「自分たちのやることを見て覚えろ」と言われました。長太郎窯では、分業ではなく、全ての工程を一人でこなします。注文数が千や二千と多く、しかも他の方と同じものを作らなければなりません。師からは「遅く良く作るのは誰にでもできる」と言われていました。毎日のことなので体で覚えていったのです。鹿児島の土は扱いにくく、京都の土を混ぜて使いましたが、「土が基本」だと知らされました。土の違いに合わせた技術が身についたと思います。

粉引きはまったく感を出したいので、生がけをするのですが、歩留まりが悪く難しい技法です。

今後、どんなことをやりたいですか？

後は、体力的に衰えてくるだろうと思うので、体力のあるうちに大きなものを作りたいです。ろくろをひくのが好きなので体全体でろくろに向かって、その勢いを作品に出したいと思います。かつて経験した、叩きの壺にも取り組んでみたいと思います。日用の食器や花器も、土の違いをどうするか考えながらやってみたいです。景色を楽しむなど作り手の心が伝わるとうれしいです。



プロフィール

- 1958 水戸市に生まれる
- 1973 鹿児島 清泉寺長太郎窯の弟子となり、約10年間、二代目有山長太郎氏のもとで修行
- 1979 第11回日展入選 現在に至るまで、日本新工芸展・日本伝統工芸新作展・日本陶芸展等で入選多数
- 1983 メキシコへ渡り1年間見学研修
- 1984 茨城県真壁町（現桜川市）に築窯
- 2002 小美玉市に移築
北から南まで日本全国で個展・出展を精力的に行う

対談を終えて

楽しそうにご自身の経験を語る気さくな方でした。その人柄は、力強く、深みがあり、それでいて親しみやすさを感じさせました。長太郎窯での修行やメキシコ研修が波瀾万丈であったことを思わせます。「常陸春秋窯」の名の通り、この後もこの地を起点に、ご活躍されることをご期待します。

友の会からのお知らせ

6月9日(金)に、友の会理事会および代議員会を開催しました。会議では、令和4年度の事業および会計報告、令和5年度の事業案および予算案、会則改正について審議をしました。また、役員改選が行われ、令和5年度・令和6年度の新役員が選出されました。

令和4年度事業報告

●会報「友の会だより」の発行

67号 7月1日, 68号 10月1日, 69号 2月1日

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

期 日：7月14日(木) 23日(土)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 氏
会 場：陶芸美術館研修室
参 加 者：18名

●笠間工芸の丘の各種体験(通年)

笠間工芸の丘の各種体験事業に会員割引価格で参加できる。

きく

●講演会

日 時：8月21日(日)
講 師：角田恵理子 氏
演 題：「茶掛も、浮世絵も読める、わかる、
初めてのくすし字」
会 場：茨城県陶芸美術館 多目的ホール
参 加 者：40名

みる

●国内研修視察

期 日：12月1日(木)～12月3日(土)(2泊3日)
行 先：京都(楽美術館)、奈良(奈良国立博物館ほか)
信楽(MIHO MUSEUMほか)

参 加 者：20名
旅 行 社：日本旅行水戸支店

●日帰り研修

中止

呈茶会

期 日：11月13日(日) 茨城県民の日
席 主：花田 和枝 氏
参 加 者：55名

会員へのプレゼント

笠間陶芸大学校生徒作品を会員にプレゼント

令和5年度事業計画

●会報「友の会だより」の発行

70号 7月1日, 71号 10月1日, 72号 2月1日

つくる

●ヨーロッパ磁器絵付け講座

募集人数：先着15人限定
期 日：9月10日(日) 24日(日)
講 師：マリア・テレサ・ルーディ 横田 氏
会 場：陶芸美術館研修室
参 加 費：12,000円
申 込：茨城県陶芸美術館 0296-70-0011
締切8月1日(火)

●笠間工芸の丘の各種体験(通年)

笠間工芸の丘の各種体験事業に会員割引価格で参加できる。

きく

●企画展関連各種講演会

各企画展・コレクション展開催中に実施する関連講演会。
日 時：講演会等実施時

●友の会主催講演会

日 時：9月17日(日) 午後2時
講 師：布浦 万代 氏
演 題：「万葉集 東歌の心風景」(仮)
会 場：茨城県陶芸美術館 多目的ホール
参 加 費：無料
申 込：茨城県陶芸美術館 0296-70-0011

みる

●国内(外)研修視察 ※会報71号(10月1日発行予定)で募集

期 日：12月1日(金)～12月3日(日)
行 先：長崎方面 募集人数：20人

●日帰り研修 ※会報72号(2月1日発行予定)で募集

期 日：3月3日(日)
行 先：東京方面 募集人数：20人

呈茶会

期 日：11月13日(日) 茨城県民の日
席 主：永地 栄子 氏(裏千家)
会 場：茨城県陶芸美術館オープンギャラリー

会員へのプレゼント

笠間陶芸大学校生徒作品を会員にプレゼント
※まだ、受け取られていない方は来館時にお申し出ください。

会則の一部改正

【追加事項】

(会員)第4条9 会費を3年間納めなかった者は、本人から退会の申し出がない場合でも、退会したものとする。

(会費)第5条 (1)ウ 家族(同居家族2人) 年額5,000円。

(注)・・・従来の夫婦会員を廃止し、新たに家族会員とします。現在夫婦会員に登録されている方は、自動的に家族会員に移行します。

令和5・6年度役員(任期2年間)

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
顧 問	関 実枝子	理 事	飯田 義之	監 事	富永 重己	代議員	岡田 卓也
会 長	塙 東男	理 事	稲葉 節生	監 事	高崎せつ子	代議員	酒井 芳樹
副会長	金杉 春樹	理 事	岡野 安次	代議員	植田 文弥	代議員	桜井 尚子
副会長	増渕 浩二	理 事	武井江津子	代議員	槍崎 里子	代議員	山崎 雅宏



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	0296-72-9322	向山窯	0296-72-0194
笠間工芸の丘	0296-70-1313	丹野陶房	0296-72-4028
笠間みんげい	0296-72-9280	陶芸館	0296-72-6650
かつら陶芸	0296-72-6688	東風舎	0296-72-5205
ギャラリー桜	0296-72-0803	無限堂	0296-72-1695
ギャラリー舞台	0296-73-0700	やまさき陶苑	0296-72-6865

● 6月27日(火)～7月17日(月・祝)

(夏を盛る)高橋春夫・松本良太・谷島潤 三人展

● 8月1日(火)～9月3日(日) 坂本新マンズリー展

● 9月12日(火)～9月24日(日)

〈A Day at the Table〉大貫博之・せきあかね・森恭 三人展

● 9月30日(土)～10月15日(日) 柴田裕子展

● 笠間焼窯元共販センター 0296-72-5665

● きらら館 0296-72-3109

● 7月4日(火)～7月17日(月・祝)

吉田丈・樋口早苗 作陶展

● 7月19日(水)～7月30日(日) 野村晃子 作陶展

● 8月2日(水)～8月20日(日) ねこ展19th

● 8月23日(水)～9月3日(日) 田山健司 作陶展

● 9月5日(火)～9月18日(月・祝)

よこみちテント展 グループ展

● 9月23日(土・祝)～10月9日(月・祝)

杉本遊炫・田中千裕 作陶展

● 涼 0296-72-0712

● ミュージアムショップ(館内) 0296-72-7105

● レストラン「風の丘」(館内) 0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験してみたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円

家族会員(※同居家族2人に限る) 年会費(2人で)：5,000円

特典1 常設展が、何度でも無料観覧できます。

特典2 企画展が年2回まで無料で観覧できます。

特典3 会報の無料配付(年3回)を受けられます。

特典4 特約店において、陶磁器等の割引が受けられます。

特典5 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。

茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)

電話 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

編集後記

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日より第5類に変更され、市民生活にも変化が見られるようになってきました。感染症自体には十分な注意を払わなければなりません、十分な友の会活動になるようにしていきたいです。

友の会だより No.70

発行：令和5年7月1日

編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会

〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)

電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集委員：小栗 和子 鈴木 充